国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

記者発表資料

平成３０年７月６日１４時解禁
九州地方整備局
延岡河川国道事務所

「清流」五ヶ瀬川は昨年も綺麗でした！
水質は、５年連続全国でトップクラスを保持！

～平成２９年　五ヶ瀬川の水質現況公表～

全国および九州地方における一級河川の直轄管理区間について、平成２９年の水質現況が公表されました。

◎全国の主要河川の中で「水質が最も良好な河川」（BOD値が環境省の定める報告下限値0.5mg/L）は、五ヶ瀬川をはじめ、１６河川でした。（別紙-1参照）

九州では、五ヶ瀬川、本庄川、球磨川、川辺川、厳木川の５河川が「水質が最も良好な河川」となっております。
五ヶ瀬川は、５年連続、全国トップクラスの水質となり（別紙-2参照）、「清流」五ヶ瀬川の名にふさわしい結果となりました。
今後も継続して五ヶ瀬川の水質がトップクラスを保持出来るよう水質環境の維持について、ご協力をお願いします。

※九州での水質現況結果は、九州地方整備局ホームページを参照してください。

◆ＢＯＤとは
ＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）とは、水中の有機物を栄養源として、微生物が増殖・呼吸するときに消費される酸素量で、20℃５日間で消費される溶存酸素量を標準としています。水質汚濁を示す代表的な指標で、水質関係の各種法令で規制項目として採用されています。

【問い合わせ先】
国土交通省　延岡河川国道事務所　技術副所長　川元（かわもと）　壊二（じょうじ）
調査第一課長　小野（おの）　富生（とみお）
〒882-0803　宮崎県延岡市大貫町１丁目２８８９番地
電話：0982-31-1155（代）　0982-31-1191（調査第一課直通）

★同時発表　国土交通本省（水管理・国土保全局 河川環境課）
北海道開発局及び各地方整備局　各河川関係事務所

全国で水質が最も良好な河川　２０１７

（別紙－１）

平成29 年の平均的な水質（BOD 値）が最も良好な河川は以下のとおりです。

地方名	河　　川　　名	都道府県名
北海道	尻別川シリベツガワ（尻別川水系）	北海道
北海道	後志利別川シリベシトシベツガワ（後志利別川水系）	北海道
北海道	沙流川サルガワ（沙流川水系）	北海道
東北	鮭川サケガワ（最上川水系）	山形県
東北	荒川アラカワ（阿武隈川水系）	福島県
東北	玉川タマガワ（雄物川水系）	秋田県
北陸	黒部川クロベガワ（黒部川水系）	富山県
近畿	熊野川クマノガワ（新宮川水系）	奈良県、和歌山県、三重県
中国	天神川テンジンガワ（天神川水系）	鳥取県
中国	小鴨川オガモガワ（天神川水系）	鳥取県
中国	佐波川サバガワ（佐波川水系）	山口県
九州	厳木川キュウラギガワ（松浦川水系）	佐賀県
九州	本庄川ホンジョウガワ（大淀川水系）	宮崎県
九州	球磨川クマガワ（球磨川水系）	熊本県、宮崎県、鹿児島県
九州	川辺川カワベガワ（球磨川水系）	熊本県
九州	五ヶ瀬川ゴカセガワ（五ヶ瀬川水系）	大分県、宮崎県、熊本県

※湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。
BOD 値による河川の水質状況（水質が最も良好な河川）

以下の条件を満たす 163 河川のうち、各調査地点の BOD 年平均値による平均が 0.5 mg/.
（環境省の定める BOD の報告下限値）であるもの
・ 一級河川（本川）: 直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川
・ 一級河川（支川）: 直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川

（別紙―2）

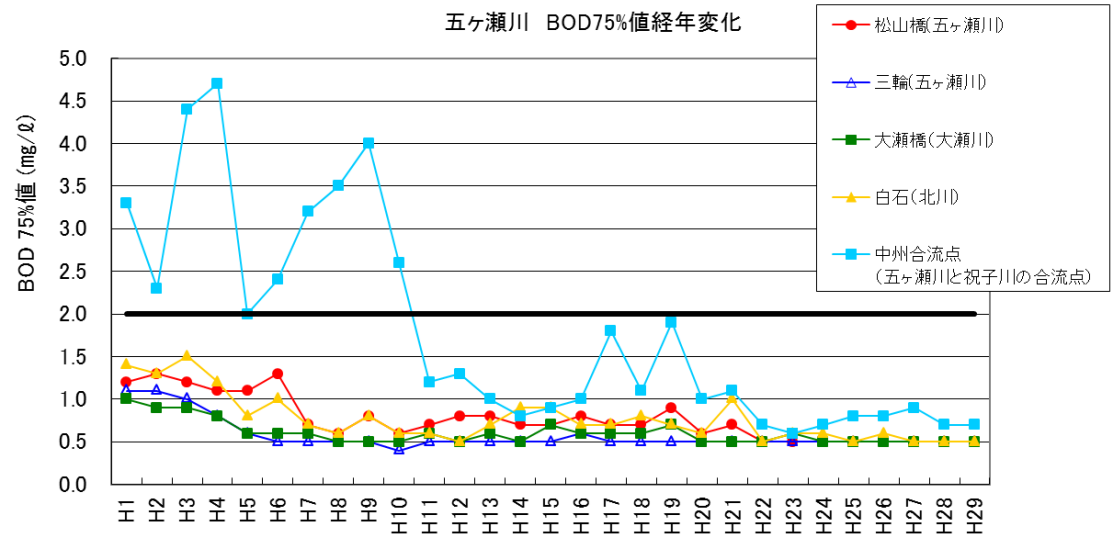
平成29年　五ヶ瀬川水系の水質現況

１．平成２９年　五ヶ瀬川水系の水質現況

・水質汚濁に係る環境基準の中の「生活環境の保全に関する基準」において、河川の水質を表す一般的な指標であるＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）の分析結果は、下表のようになっています。
・河川の水質は、下図のとおり経年的に見ると穏やかな改善傾向にあり、近年の値を見ても良好な水質状態を保っています。
・ＢＯＤ７５％値で環境基準値を満足した地点は、三輪、松山橋、大瀬橋、中州合流点、白石の５地点となっています。

平成29年　水質現況　　(mg/l)

	三輪（五ヶ瀬川）	松山橋（五ヶ瀬川）	大瀬橋（大瀬川）	中州合流点（祝子川）	白石（北川）	環境基準値
BOD75%	<0.5	<0.5	<0.5	0.7	0.5	A類型2.0以下
BOD平均値	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	



※河川における類型毎の環境基準値（BOD75%値）

AA 類型：1mg/l，A 類型：2mg/l，B 類型：3mg/l，C 類型：5mg/l，D 類型：8mg/l，
E 類型：10mg/l

※BOD における環境基準の達成状況の判定

測定年のデータの75%値が基準値以下である場合、当該測定地点において環境基準を達成していると評価しています。例えば、月１回の測定の場合、12個/年のデータのうち水質の良い方から9番目の値（12個×0.75）が75%値となります。

また、平均値は他の調査地点と数値比較を行う場合に用いています。

２．水生生物調査

河川の水質保全の必要性や河川愛護の重要性を認識してもらうため、小中大学生等の参加を得て、昭和６０年度から水生生物による簡易な水質調査を実施しています。

平成２９年は、４地点（五ヶ瀬川（吉野）、大瀬川（大瀬大橋）、北川（小川・永代橋）、祝子川（桑平橋））を対象に９８名の小学生や大学生、一般住民の参加を得て、調査を実施しました。

調査結果において、カワゲラ類、ナガレトビケラ類、ヒラタカゲロウ類等を確認しており、全地点で「きれいな水」と判定されました。

九州地方整備局ＨＰアドレス
（アドレス http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kawa/suisei_tyosa/index.html）

３．新しい水質指標による住民との協働調査を実施

河川の水質管理指標は、住民にわかりやすいものである必要があります。
このため、平成 17 年より河川の水質をＢＯＤによる評価だけでなく、「人と河川の豊かなふれあいの確保」や「豊かな生態系の確保」といった住民の視点に立った評価（新しい水質指標による評価）も実施しています。

この新しい水質指標には、河川管理者がこれまで測定してきた項目だけでなく、「川底の感触」や「水のにおい」等の“住民との協働”による調査も測定項目として加えています。（詳細は平成29年九州地方一級河川の水質状況（平成30年7月6日九州地方整備局記者発表））

４．水質事故

平成２９年度における五ヶ瀬川水系に関連する水質事故は、１０件発生しています。過去に発生した水質事故の多くが油流出事故であることをうけ、平成３０年２月１６日に危険物取扱事業所を巡回し、油流出事故防止の協力を訴える啓発活動を実施しました。

なお、事故発生時の対応については、河川管理者と関係機関により構成される「五ヶ瀬川水系水質汚濁防止連絡協議会」を設置しており、発生時においては、速やかに情報の収集、通報、連絡を行うとともに関係機関の協力のもとに、オイルフェンスの設置等の緊急措置を講じることにより、被害を最小限にとどめる体制を取っています。

５．水質保全に対する取り組み

当事務所では、「五ヶ瀬川水系水質汚濁防止連絡協議会」の関係機関と連携し、水質保全を図るために以下の取り組みを行いました。

（１）水質に関する情報交換
・各機関で実施している公共用水域水質測定結果の共有

（２）危機管理体制
・河川パトロールの実施
・水質事故対策訓練の実施
・緊急時の措置に関する連絡及び連絡通報体制の整備

（３）水質汚濁防止に関する広報活動
・水生生物調査
・河川愛護月間におけるキャンペーン活動
・リバーフェスタのべおか等における各種広報活動
・水質改善及び油流出事故防止の啓発活動

（４）生活排水対策等の実施（流域・市・町）
・生活排水対策の推進
・合併処理浄化槽設置事業の促進
・農業集落排水施設等の整備促進

６．水質データ（速報値）の公表

九州地方整備局ホームページの下記のサイトにおいて、延岡河川国道事務所が調査測定する調査地点について、毎月の水質データ（速報値）を公表しています。

ＨＰアドレス　http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/kasen/suisitu/suisitu.html

７．ダイオキシン類実態調査

平成２９年１１月に三輪及び大武地点にて水質及び底質中のダイオキシン類（ポリ塩化ジベンゾーパラージオキシン（PCDD）、ポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）及びダイオキシン様塩化ビフェニル（DL-PCB））の調査を実施しました。

①水質調査結果

水質の調査結果は下記に示すとおりであり、『ダイオキシン類対策特別措置法』により定められている『水質の環境基準値』1pg-TEQ/L を超える地点はありませんでした。

②底質調査結果

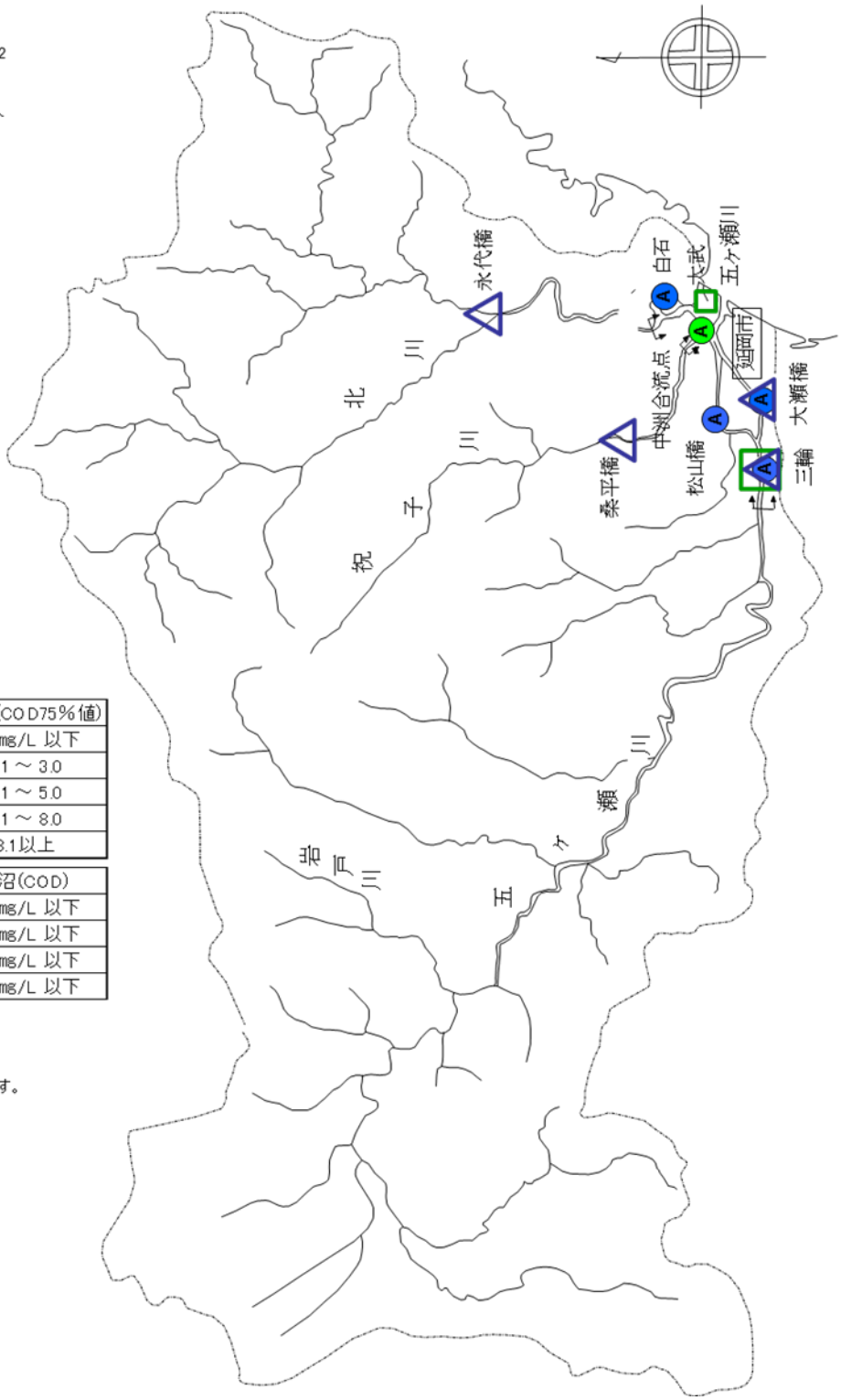
底質の調査結果は下記に示すとおりであり、『ダイオキシン類対策特別措置法』により定められている『底質の環境基準値』150pg-TEQ/g を超える地点はありませんでした。

調査地点	ダイオキシン類（水質）				ダイオキシン類（底質）			
	PCDD+PCDF	DL-PCB	TOTAL	評価値（平均値）	PCDD+PCDF	DL-PCB	TOTAL	評価値（最高値）
三輪	0.062	0.0046	0.067	0.067	0.26	0.013	0.27	0.27
大武	0.065	0.0046	0.070	0.070	0.23	0.014	0.25	0.25
	(pg-TEQ/L)				(pg-TEQ/g)			

◎水質調査地点及び水生生物調査地点位置

五 ヶ 瀬 川

流 域 面 積　1,820km²
幹線流路延長　106km
流 域 内 人 口　約128千人



色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
	0.6 ～ 1.0	1.1 ～ 3.0
	1.1 ～ 2.0	3.1 ～ 5.0
	2.1 ～ 3.0	5.1 ～ 8.0
	3.1 ～ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
－	類型未指定	

1．○内の色はBOD75%値のランクを指す。

△：水生生物調査地点

□：ダイオキシン類調査地点